

定期巡回・随時対応型サービス 自己評価・外部評価 評価表

別紙 1

法人名	社会福祉法人 やながせ福祉会
事業所名	定期巡回 かつはら

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全く でき ない		
I 構造評価 (Structure) [適正な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				法人理念である「利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、出来る限りの生活の質の向上を図る」に基づき、定期巡回では「住み慣れた自宅で24時間365日の安心を」という理念を掲げ取り組んでいる。	【自己評価の内容を確認した】
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				サービスの特徴と事業所の理念を十分に理解し、日々質の高いサービスを目指し努めている。今後も継続して取り組んでいく。	【自己評価の内容を確認した】
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			コロナ禍において、十分な感染予防を施した上で、研修会や勉強会、定期的な会議を開催し、職員の育成に取り組んでいる。施設外の研修へはリモートでの参加を行う等、参加する工夫を行い更なる技術・知識の向上に努めたい。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき ない こと が多い	全 く でき ない		
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			職員の配置に関しては、日勤と夜勤がバランス良く、連勤が続かないように出来る限り配慮し、訪問間隔もバランス良く少しでもゆとりが持てるよう配慮し配置している。	【自己評価の内容を確認した】
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				連携先の訪問看護事業所と電話やケース記録等を確認してもらう事で、日々利用者様の状態や困り事等の情報共有に努め、相互理解を深める機会が確保できている。	・日々の経過記録をPCを通じて、リアルタイムで確認出来たり、後で見返す事が出来る為、相互理解を深めることが出来て助かっている。
(3)適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				利用者様の状態に合わせてながら、利用者様や家族様の要望においても出来る限り柔軟に対応出来るように職員の配置やサービス調整等を工夫している。	【自己評価の内容を確認した】
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			得られた要望や助言、指摘事項に対する改善策等を定期会議等で共有し、サービスの提供に反映させ、状況の改善が行えるよう努めている。	・利用者の体調や状態に合わせて、訪問回数や所要時間、内容を臨機応変に変更しながら対応してもらい助かっています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき ない		
(4)適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				利用者様の状況に係る情報の更新や関係者との共有は、共通のシステムを活用する事で必要な情報等を閲覧、共有出来るようにしている。また、ペーパーレス化する事で、個人情報管理にも注意している。	・事業所に居ながら担当利用者の様子がリアルタイムで分かり、こちらでは知りえない日常生活の様子も把握でき大変有難いです。 ・情報収集としても定期巡回は大きな役割を担っており今後も頼りにしています。
(5)安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			各種マニュアルを作成し周知している。法人内の安全対策委員会が中心となって、災害時、運転時等の研修も行っている。環境面においては、ドライブレコーダー、防犯ブザー等対策を検討中である。	【自己評価の内容を確認した】
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報に関しては、マニュアルに沿って取り扱い保護している。利用者様の情報管理においても基本はPC管理で極力ペーパーレス化を図り、個人ファイル等必要な書類等は鍵付きの棚で徹底管理している。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき ない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				関係者と情報を共有する事で、利用者様、家族様のニーズを把握し、利用者様の状態や生活スタイルに合わせたアセスメントが提案出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態の変化に合わせて、家族の意向や暮らしの環境などに考慮した訪問をしてもらい助かります。 ・担当CMでは表面的なアセスメントになってしまっていますが、定期巡回を利用すれば見えない部分の情報も分かり、より正確なアセスメントが出来ます。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				連携先の訪問看護事業所による月1回のアセスメントを全職員で共有し、介護状況もシステムでの確認や必要に応じた電話連絡を行う事でお互いの情報共有を図る事が出来ており、介護と看護の両面からのアセスメントが出来ている。	日々の状況をシステムを通して把握し、必要時はこまめに報告を頂く事で、情報が共有出来て、的確な支援の実現に繋がっています。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				関係者からの情報を収集や日々のサービス状況を踏まえ、利用者様の残存能力を把握して見極め、在宅での生活の維持回復が図れるよう努めている。	日頃から利用者様の状態を考慮し、在宅生活の維持回復を前提としたプランを立案してもらい助かっています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき てい ない		
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			重度化しても医療の依存度を高め過ぎないよう、各関係者との連携をこまめに図りながら適切なリスク管理を行い、「未来志向型」の計画が作成できるよう努めていきたい。	毎日訪問して頂ける為、状態の変化に一早く気付いてもらえます。変化のあった場合には連絡がもらえ、重度化する前に対策が取れる為良いと思います。
(2)利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			定期訪問以外に、利用者様の体調不良、身体面、精神面等で状態に変化が見られた場合は適宜訪問回数や時間を調整し対応している。また、直接利用者様や家族様から依頼があった時等も、同様に対応している。	担当の利用者が体調を崩した際に、定期訪問以外でも随時訪問してくれて大変助かり安心です。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			日々の定期訪問や状況に応じた随時訪問から得られる利用者様の様子や状態の変化などを記録・分析・把握して適宜計画へ反映されている。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき てい ない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				利用者様の日々の体調や状況の変化に合わせて連携先の訪問看護と都度密に関わり、助言や必要な訪問による対応をもらう事で、専門性を活かした役割分担が行われている。	密に連絡があり、その都度必要な助言や様子観察等必要な対応をしてもらえ、介護と看護の専門性・役割も出来ていると思います。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				連携先の訪問看護師より予防や機能の維持回復に必要な助言や指導を受けながら日々努めている。	重度化の予防や機能の回復に向け助言した内容を取り組んでもらい助かっている。
(4)利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス開始前のサービス担当者会議や事前訪問にて現状のアセスメントを行い、契約時には利用者様、ご家族様にサービスの趣旨や内容等必要な情報提供、説明を行っている。	事前にきちんと趣旨や必要な内容を分かりやすく説明してもらいました。日々の様子はアプリで確認出来るので助かっている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき てい ない		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				作成した計画書の目標やサービス内容を詳細に説明し、共通の認識を得られるよう努めている。	【自己評価の内容を確認した】
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				日々の訪問から得られる情報や利用者様の状況の変化、それに伴うサービス提供の変更等について、ご家族様やその他関係者への適時・適切な報告・相談等を実施している。	【自己評価の内容を確認した】
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				利用者様へのサービス提供状況、心身機能・環境等の変化に対して、担当CMとは、都度電話やシステムにて必要な情報の共有が行われており、サービスの提供日時等が共同で決められている。	必要な情報を報告してもらったり、システムで共有出来る事で、些細な変化でも情報を共有出来て、提供時間や訪問回数などはその都度共有して共同で決めてもらえるので助かっています。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じ、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			計画の目標達成のために、必要に応じて地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含め、ケアプランへの提案が行えるように努めている。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全 く でき ない		
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				定期的なアセスメント結果や目標の達成状況など、多職種への日々の情報提供はもちろん、サービス担当者会議等の場を通じて情報提供に努めている。	【自己評価の内容を確認した】
(2)多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			今後も必要あれば保険外サービス、インフォーマルケア等の活用について多職種で検討していきたい。	【自己評価の内容を確認した】
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				病院・施設への入院・入所、及び退院・退所の際などに必要時に定期巡回サービスを提供できるように日頃から病院の地域連携室、各居宅支援事業所等と連携して検討や情報の共有が行われている。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全く でき ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)		○			地域包括支援センターや連携先の訪問看護、各居宅支援事業所等との連携を密に図り、効果的な役割分担や連携方策について検討・共有できるように日々努めている。	【自己評価の内容を確認した】
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				介護・医療連携推進会議の記録や使用した資料等は、当事業所の玄関前の専用の棚に重要事項説明書や契約書と一緒に誰でも閲覧できるスペースに掲示している。	【自己評価の内容を確認した】
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			地域包括支援センターへの協力依頼をはじめ、地域の自治会や民生委員と連携し、説明会や交流会に参加して広報の周知に努めている。	【地域包括より】 もっと活動する必要があると感じる。まだまだ当事業所と関係のない所や、個人で行っている所などは定期巡回を選択するというまでの認知がないと思う。頑張ってください。協力致します。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき ない こと が多い	全 く でき ない		
(2)地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括 ケアシステム構 築に係る方針や 計画の理解	30	行政が介護保険事業 計画等で掲げている、 地域包括ケアシステム の構築方針や計画の 内容等について十分に 理解している		○			研修で取り扱う等して、地域包括ケアシ ステムの方針や計画の内容について十 分に理解できるように努めている。	【自己評価の内容を確認した】
②	サービス提供に おける、地域へ の展開	31	サービスの提供エリア について、特定の建物 等に限定せず、地域へ 広く展開していくことが 志向されている		○			提供エリアは特に限定はせず、広く展 開しサービス提供出来るよう努めてい る。	地域を限定する事無く柔軟にサービス提供されて いるとお聞きしており、有難く心強く思います。
③	安心して暮らせ るまちづくりに向 けた、積極的な 課題提起、改善 策の提案等	32	当該サービスの提供等 を通じて得た情報や知 見、多様な関係者との ネットワーク等を活用 し、介護・看護の観点 から、まちづくりに係 る問題認識を広い関係 者間で共有し、必要に 応じて具体的な課題提 起、改善策の提案等 (保険外サービスやイ ンフォーマルサービス の開発・活用等)が行 われている(※任意評 価項目)			○		多種多様な関係者との関わりを活用し て、介護・看護の観点から、まちづくりに 係る問題認識や具体的な課題提起・改 善策の提案など出来るよう努めたい。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき てい ない	
Ⅲ. 結果評価 (Outcome)								
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○			自立した生活を目指される方が多い中で、介護度が下がったり要支援に戻ったり、定期巡回の利用が必要無くなるケースもある。	介護度の低下や自立は利益が下がってしまわれるのが、残念です。目標を達成すると収益が減ってしまう事には疑問を感じます。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○			利用者様やそのご家族様から安心して生活出来るとお言葉を頂く事が増えている。今後も在宅生活を安心して過ごして頂けるように努める。	定期巡回を利用して、親と離れていても安心出来るし、親自身も安心しています。これからもよろしくお願いします。